

申請の手引き (新規創業者以外)

1 売上げを比較する月(令和元年又は令和2年7月、8月、9月のいずれか)を含む期間の確定申告書の写し(收受日付印があるもの)

※ 申請事業者の業種は、当該書類によって確認します。

※ e-Taxで確定申告した事業者は、次のいずれの場合でも、受信通知(メール詳細)の写しを添付してください(受信通知の「種目名」欄が「所得税及び復興特別所得税の確定申告書」となっているもの)。

① 法人の場合(次の両方を添付してください)

ア 確定申告書別表一の写し

イ 法人事業概況説明書の写し(両面を添付してください)

ア 確定申告書別表一

收受日付印があることを確認してください。

申請書の「申請事業者」の欄は、こちらから転記してください。

今年と前年又は前々年の売上げを比較できる事業期間であることを確認してください。

見本

イ 法人事業概況説明書

法人事業概況説明書

收受日付印があることを確認してください。

今年と比較できる月の売上げが記載されていることを確認し、申請書の「3要件確認」の令和元年又は令和2年の売上金額を記入してください。

② 個人事業主の場合

ア 青色申告の場合(次の両方を添付してください)

- ・ 確定申告書第一表の写し
- ・ 所得税青色申告決算書の写し(ページ1とページ2を添付してください)

イ 白色申告の場合

- ・ 確定申告書第一表の写し

※ 所得税青色申告決算書が無い場合、又は白色申告の場合は、確定申告書第1表㉞の金額を12で割った金額を、比較する月(令和元年又は令和2年7月、8月、9月分のいずれか)の売上げとしてください。

※ 令和2年9月1日までに創業した場合は、創業した月を含む営業月数で割った金額を売上げとしてください。

・ 確定申告書第一表の写し

令和元年分又は令和2年であることを確認してください。

收受日付印があることを確認してください。

所得税青色申告決算書が無い場合、又は白色申告の場合は、㉞の金額を12で割った金額を、申請書の「3要件確認」の令和元年又は令和2年の売上金額としてください。

申請書の「申請事業者」の欄は、こちらから転記してください。

マイナンバーは、黒塗りして見えないようにしてください。

・ 所得税青色申告決算書の写し

令和元年度又は令和2年7月、8月、9月の売上げが記載されていることを確認し、申請書の「3要件確認」の令和元年又は令和2年の売上金額を記入してください。

